

# 世界の鉄道の発展に向けて

地球環境問題への意識の高まりや新興国の経済成長の中で、環境にやさしい公共交通機関として世界的に鉄道への関心が高まり、現在、世界各地で多くの鉄道プロジェクトが検討されています。

当社は、海外のさまざまな鉄道の調査、設計、施工監理、さらには運営・維持といったあらゆる段階をサポートすることによって、各国の鉄道の発展に貢献することをめざし、2011年11月、西日本旅客鉄道(株)、東京地下鉄(株)をはじめとする、高速鉄道、都市鉄道、貨物鉄道に関するさまざまな実績とノウハウを持つ国内の鉄道事業者とともに、海外の鉄道コンサルティング業務を行う日本コンサルタンツ(株)(JIC)を設立しました。

現在、同社を中心に、事業可能性調査や設計業務などの海外鉄道コンサルティング事業を積極的に展開しており、さらに今後は、国内外の企業と協力し、オペレーション&メンテナンス分野(列車の運行や設備の保守などに関する計画・指導・支援)を含めた海外鉄道プロジェクトへの参画をめざしています。特に、成長著しいアジアを重点地域と位置づけるとともに、各地域の鉄道プロジェクトに対応し、世界各国の鉄道の発展に貢献しています。

また、それらの海外鉄道プロジェクトに関する情報収集などを目的に、従来の「ニューヨーク事務所」、「パリ事務所」に加え、2012年11月にはベルギーの首都ブリュッセルに「ブリュッセル事務所」を新設するとともに、2013年3月、アジアにおける拠点として、シンガポールに「シンガポール事務所」を設置しました。



ミャンマーにおける鉄道の様子



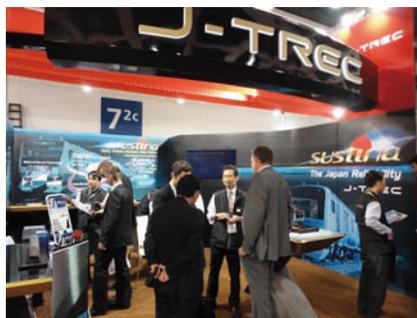
ガーナにおける鉄道の様子

## 鉄道車両製造事業の海外展開

2012年4月に新たにJR東日本グループの一員となった(株)総合車両製作所(J-TREC)と新津車両製作所の相乗効果を発揮して、鉄道車両製造事業を「経営の第4の柱」として確立することをめざします。

さらにグループが有する製造から運行・メンテナンスまで一貫した総合技術力に磨きをかけて海外市場における日本の車両のシェア拡大をめざします。特にJ-TRECでは、強みとしているステンレス車両について、ブランド名「sustina(サスティナ)」を冠して、信頼性の高さや低ライフサイクルコストといった優位性をアピールする事業戦略を進めています。

海外展開の具体的な推進に向け、2012年12月にはJ-TRECで海外事業推進室を設置、また車両メンテナンスを手がける東日本トランスポートック(株)においても海外業務部を立ち上げるなど、グループ各社で体制強化を行い、ソフト・ハード両面のノウハウを組み合わせた海外事業展開を進めています。



国際鉄道見本市への出展の様子

## グローバル人材育成プログラム Ever Onward

「海外展開を担う人材」の育成をめざし、当社では、海外留学、公的機関や他企業への派遣による海外展開、また海外鉄道コンサルティング業務OJTトレーニーなど、「グローバル人材育成プログラム Ever Onward」を推進しています。特に、海外鉄道コンサルティング業務OJTトレーニーは、鉄道コンサルティング業務の中核となる人材の育成を目的に実施しているプログラムであり、2012年度は、公募制で選ばれた22名がカイロ(エジプト)、ハノイ(ベトナム)、ホーチミン(同)へ派遣されるなど、活躍の舞台を世界に拡げています。



カイロOJT風景



ハノイOJT風景